

第34期第1回研究会「視聴者と番組間の相互作用への探求：視聴者の番組への関わり方の類型化の試み」（理論研究部会企画、立教大学社会学部メディア社会学科との共催）のご案内

日時：2013年12月14日（土）14:00～16:00

場所：立教大学池袋キャンパス11号館1階A101教室

※立教大学池袋キャンパス・マップ

<http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/direction/>

問題提起者：陳 春富（台湾・輔仁大学准教授、立教大学招聘研究員）

司 会：黄 盛彬（立教大学社会学部）

※使用言語 英語・日本語

ドラマをはじめとする様々なフィクション番組の視聴者は、番組の視聴に関連する諸状況にどのように関わっているのでしょうか。本研究会では、台湾の若い視聴者に対する深層インタビューから得られた調査結果を踏まえ、オーディエンス・エンゲージメント（audience engagement）の問題について検討する。問題提起者は、6つの異なる国や地域（アメリカ、日本、韓国、シンガポール、中国、香港）から輸入されたテレビドラマなどのフィクション番組を、台湾の若い世代がどのように視聴しているかを調べることで、視聴経験の実態、視聴の動機、得られた満足を明らかにすると同時に、「視聴者と番組との関わり方」について、理論的な視点からの類型化を試みている。その類型化によれば、若い世代のフィクション番組視聴者たちは、個人的なレベルにおいては、視聴者－テキスト間相互作用、視聴者－登場人物間相互作用を行っており、集合的なレベルにおいては、視聴者－メディア間相互作用、視聴者－視聴者間相互作用を行っていること、そしてこれらの相互作用から、(1)審美的エンゲージメント、(2)擬似社会的相互作用エンターテイメント、(3)間テキスト的エンゲージメント、(4)ソーシャル・ネットワーキング・エンターテイメントという4つのタイプの関わり方を析出することができたとしているのである。当日の研究会では、このような類型化のアイデアおよび手続きについて問題提起者に詳しく紹介してもらい、その理論的・方法論的妥当性、および、異なる年齢層や異なる社会への適用可能性などについて、参加者との間で議論を深めて行きたいと考えている。